

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	広域幹線道路高架下活用促進事業			事業番号	31-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部国県事業推進担当	三宅伸宏	国県事業対策課	石井 渉	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
予算事業名	広域幹線道路推進事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	道路法、道路法施行令、都市計画法、建築基準法				
国・県の計画等	第四次全国総合開発計画、第11次道路整備5箇年計画、かながわのみちづくり計画			計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市内では、新東名高速道路、国道246号バイパスなど、広域幹線道路の整備が進められており、その高架道路の路面下(高架下)等の一部については、直接通行に供しない空間が生じることが見込まれます。				
目的 (何をどうしたいのか)	広域幹線道路の高架下の中で、本市が活用できる範囲について事業者と協議を進めるとともに、公共公益施設の設置など、高架下の有効利用について検討を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	高架下設置施設を利用する市民等				
事業内容 (手段、手法など)	・新東名高速道路の高架下部分の利活用を図るため、事業者との占有許可手続きに向けた協議を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	関係機関との協議	承認手続き	承認手続き		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
	新東名高速道路の高架下部分の利活用に向けた調整		28年度	29年度	
		素案決定、協議、調整	承認手続き	承認手続き	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	当面、優先して実現化を検討する公共公益施設の配置計画(市案)に基づき、事業者との協議・調整を進め、施設担当課による占用許可手続きに向けた協議・調整を図る。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	関係機関との協議	関係機関との協議	
実施した取組の内容	・当面、優先して実現化を検討する高架下における公共公益施設の設置計画(市案)に基づき、高架下の占用許可取得に向けた事業者との協議・調整を実施した。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	新東名高速道路の高架下部分の利活用に向けた調整	素案決定、協議、調整	承認手続き

		年度		28年度 実績		29年度 実績				
内訳	事業費合計 (a)		113	千円			千円			
	内訳	国県支出金 ①	0	千円			千円			
		地方債 ②	0	千円			千円			
		その他特財 ③	0	千円			千円			
		一般財源 (a)-①-②-③	113	千円			0	千円		
国県支出金の内容										
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
人件費	正規職員		0.48	人	4,152	千円		人		千円
	その他の職員		0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)		0.48	人	4,152	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				4,265	千円				千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	高架下施設利用可能者(全市民)			単位		単位		
		対象数	101,635			人				
	総事業費 / 対象数	42			円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	当面、優先して実現化を検討する高架下における公共公益施設の配置計画(市案)に基づき、各施設担当課とともに事業者との占用許可手続きに向けた調整を図った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	高架下の利活用は、広域幹線道路の整備構造や周辺の土地利用などに応じて異なることから、一概に他市の事業と比較することは困難である。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	当面、優先して実現化を検討する高架下における公共公益施設の配置計画(市案)に基づき、各施設担当課とともに個別事案毎に整備スケジュールを踏まえた事業者との調整を図った。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	経費をかけることなく、当面、優先して実現化を検討する高架下における公共公益施設の配置計画(市案)に基づき、事業者との協議・調整を進めることができた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	当面、優先して実現化を検討する高架下における公共公益施設の配置計画(市案)に基づき、引き続き、施設担当課による占用許可手続きに向けた事業者との協議・調整を図る必要がある。
次年度取組方針		当面、優先して実現化を検討する高架下における公共公益施設の配置計画(市案)に基づき、事業者との協議・調整を進め、施設担当課による占用許可手続きを支援する。		
所管部長による総評		高架下等の利用可能地については、貴重な用地として有効活用を図ることが必要であるが、一方で、剥落対策等の課題もあるため、費用対効果も踏まえつつ事業者のスケジュールとの調整を図りながら、優先する施設の占用許可手続きに向けた協議・調整を進める必要があると考える。		